



スイートコーン栽培

スイートコーンの栽培を始めたクラカアグリ畑



クラカアグリ 収益アップ図る

農業法人のクラカアグリ(倉敷市西中新田)は、倉敷、総社市でスイートコーンの栽培を始めた。現在手掛けている加工用のキャベツ、青ネギなどの合間

に育てて収益を上げるとともに、収穫後の葉や茎を畑にすき込んで肥料にする。

初年の栽培面積は計60㌥で、7月末までのシーズン中に2万4千

本を収穫する計画。市場を通じて岡山県内のスーパーに全量を販売しており、約200万円の売り上げを見込む。

同社は、食材加工・卸の倉敷青果荷受組合(同)の農業生産子会社。耕作放棄地対策として中山間の小規模農地でも「もうかる農業」の確立を目指しており、両市と矢掛町に約150カ所、計16㌥の農地を経営している。

クラカアグリは「収益アップと土壌改良を図る一石二鳥の取り組みで、来年は1・2㌥まで栽培面積を増やしたい」としている。

(久万真毅)